

話題のパレット

身近な話題をお寄せください
☎0244-42-1613
村づくり推進課企画係

「山の向こうから」を開催

雨に備えて交流センター「ふれ愛館」に会場を変更。入場制限をかけるなど感染症対策を徹底しての開催



5月2日、物づくりのイベント「山の向こうから」が実行委員会（二瓶麻美実行委員長／草野）の主催で開催されました。会場には、各店舗のテントがゆったりと配置され、作り手の想いが伝わる工芸品や、こだわりのつまったおいしい物が並び、約550人の来場者が、魅力的な品々との出会いを楽しみました。

婦人会による奉仕活動

この日は16人が参加。今後は白石地区からセンター1地区へ続く道路の清掃を行う予定です。



5月12日、飯館村婦人会（長谷川花子会長／前田）が、交流センター「ふれ愛館」で、美化活動を実施。植え込みの草むしりなどをていねいに行っていました。長谷川会長は「『村のために』との強い思いで集まってくれる会員には、本当に感謝。人が少なくなっても、ずっと続けていきたい」と熱い思いを語っていました。

飯館牛の木エクラフト



来庁者にプレゼントするなどして村のお土産としてPRしていく予定。

5月25日、「村民の森あいの沢」の管理人を務める高野靖博さん（南相馬市）が役場を訪れ、飯館牛の木エクラフト100個を寄贈しました。2週間程かけて作り上げたそう。木材集めから組み立てまで全て手作りで、接着剤ではなく、開けた穴に差し込むスタイル。手作りならではの温かみと一つひとつ異なる表情がとても可愛いです。

はなれていても

北原彰さん（宮内） 栃木県那須塩原市在住



55歳になったら勤めていた農協を退職をし、65歳までの10年間は農業をやるうと考えていました。震災がなかったら、もちろん村で、牛も飼っていたでしょうね。

震災の年の11月、仕事に区切りがついたのを機に退職。家族にも事後報告でした。まだ賠償についても何も決まっていなかった時期でしたが、避難先でたまたま中古の家を買ったことになり、そこで土地を借りて花づくりを始めました。県外避難者にも、営農再開の事業が使えるよう、尽力してくださった皆さんに、今も感謝しています。全く知らない土地に来て、自分なりに努力もし、苦労もしました。



村役場に届けていただいた真紅のシャクヤク。3年越しで苗を入手し増やしてきた品種です。「興味のある方はいつでも連絡ください」。

事業所名は「花園までい」。職員時代に学んだノウハウや人脈を活かしながら、東京の2つの市場に花を出荷しています。付加価値の高い、市場で人気の品種を選んで栽培。露地栽培とハウスとで、トルコギキョウ、カンパニユラ、シャクヤク、ローズリリー、東海桜など、さまざまな花きを生産しています。

季節感あふれる情報が満載 読むだけでもお出かけ気分

福島を楽しむ大人の情報誌「モンモ」の最新刊を購入しました。特集「新緑のウォーキング」や「初夏のおでかけスポット＆イベントガイド」など、今すぐ使える情報が盛りだくさん。外出自粛の間も美しい風景写真の数々で、お出かけ気分が味わえます。



モンモ2021年初夏号 発行/エス・シー・シー

交流センター「ふれ愛館」だより
おすすめ図書を紹介しします

休日も自宅で過ごすことが多い今こそ、ぜひ交流センターの図書貸出をご利用ください。本との出会いが日常をリフレッシュしてくれますよ。

問 交流センター「ふれ愛館」
☎ 0244-42-0072

本の貸出時間
平日：午前8時30分から午後5時